議題７

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
□ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
□ 社会環境
■ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>■ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2">農林水産省</td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">農政部　農産物マーケティング室</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>**件名**</td><td colspan="4">**農畜産物の適正な価格形成に向けた取り組みについて**</td></tr>
<tr><td>**提案市**</td><td colspan="4">中野市</td></tr>
<tr><td>**提案要旨**</td><td colspan="4">現在、農業を取り巻く状況は、ウクライナなどの国際情勢を受け、飼料や肥料などの資材価格の高騰等により生産・流通コストが上昇する一方、価格転嫁が進んでおらず、農業経営は悪化の一途をたどっている。
資材価格の高騰等による生産・流通コスト増加分を、農畜産物の販売価格に転嫁させるため、流通事業者や消費者に対し、適正な価格形成の実現に向けた理解醸成を図る取り組みなどを展開することを要望する。
（例）
・国民運動「ニッポンフードシフト」において、適正な価格形成への理解を醸成する機会を設ける。
・国の運動と連動し、県においても県産農畜産物の地産地消など消費拡大の取り組みを展開する。
・市場関係者に働きかけることも重要であり、ＪＡ等とも連携し、生産者がバイヤー等に現状を伝える機会を設けることも有効である。</td></tr>
<tr><td>**提案理由**</td><td colspan="4">資材価格の高騰等による生産・流通コストの増加分について、農畜産物の販売価格に転嫁できない生産者は営農継続に大きな不安を持っており、個々の生産者の経営努力で解決することが困難であるため。</td></tr>
<tr><td>**現況及び課題等**</td><td colspan="4">農林水産省がまとめた令和５年３月の農業物価指数では、令和２年を100とする指数で、肥料は155.2、飼料は148.5と大幅に上昇した一方、農産物価格は107.1とほぼ横ばいとなっており、農業経営の改善のためには、いかに生産・流通コストを農畜産物価格へ反映するかが大きな課題となっている。</td></tr>
<tr><td>**関係法令**</td><td colspan="4">食料・農業・農村基本法</td></tr>
</table>